

「自助・共助・公助」の連携パワーを最大限に活かす アクションプログラム

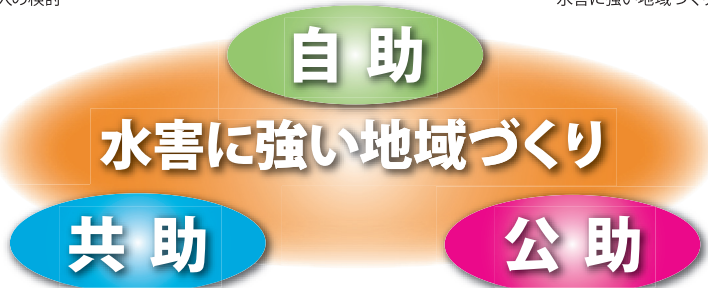


「川内川水害に強い地域づくり」—アクションプログラム—

平成19年8月にソフト対策基本方針についての提言が行われました。その後、この提言に沿って、「自助・共助・公助」の連携を目指したソフト対策となる様々なアクションプログラムが策定され、施行・実践が行なわれているところです。

アクションプログラムのポイント

- ・洪水ハザードマップの作成支援
- ・避難計画・施設の再検討
- ・災害時要援護者の避難対策の立案
- ・水害時住民行動マニュアルの作成
- ・地域孤立化防止対策の検討
- ・水害危険性の認識向上・防災用語等の習得
- ・浸水地区の土地利用規制等の検討
- ・浸水に強い建築構造導入の検討
- ・河川沿川における従前の遊水機能の確保に関する対策の検討
- ・わかりやすく精度の高い情報提供
- ・地区コミュニティの活用
- ・水防情報の一元化
- ・避難準備情報・勧告・指示の発令基準の再検討
- ・収集情報の発令判断への活用
- ・水防資材の備蓄・効率的活用
- ・重要水防箇所の情報提供
- ・ボランティアの受け入れ体制、業界団体との協力体制の確立
- ・消防団等との連携による各家庭での浸水軽減活動
- ・水害に強い地域づくり推進協議会の設置



具体的なプラン例 (番号はアクションプログラムの番号)

1. 市・町洪水ハザードマップ整備完了

現地調査の結果をマイ洪水ハザードマップに反映。作成したマップを今後の水防活動に活用します。

2009/12/19 19:00

全市・町で整備完了しています。

4. 自宅中心の洪水ハザードマップ作成

学習会の開催状況

全市町で学習会が開催されています。定期的更新については、流域の全市町とも激特事業終了後に更新する予定です。

5. 洪水ハザードマップ学習会開催

17. 浸水地区の土地利用規制

浸水の危険が高い土地においてはその利用規制を設け、洪水による被害が発生しないようにします。

20. 水文情報のリアルタイム表示

県はHPに防災情報を掲載、危険度レベル等の情報については、各市町の防災無線により配信されるようになりました。

22. 危険度レベルの標識設置

全市町での設置が完了しています。

日常生活に洪水対策意識

『まるとまちことハザードマップ』

24. 自主防災組織単位での避難訓練

さつま町総合防災訓練

全市町、自主防災組織単位での訓練が実施されています。中には消防職員等のアドバイスの下で実施されるものもあります。

重要水防箇所の情報提供

各市町防災担当者等を集めての合同点検

早見やん川内川 (携帯電話によるリアルタイム防災情報の提供)

河川情報表示板、インターネットや携帯電話により洪水時の河川情報を提供し、防災対策や洪水被害の軽減に努めます。

■ 水位情報電話応答番号一覧表

局名	電話番号	局名	電話番号
1 全局	0996-20-3890	9 花北	0996-22-8260
2 久見崎	0996-20-3891	10 荒田	0996-22-8265
3 川内	0996-20-3892	11 湯之尾	0996-22-8274
4 斧刈	0996-22-8222	12 栗野橋	0996-22-8276
5 倉野橋	0996-22-8226	13 吉松	0996-22-8279
6 宮之城	0996-22-8242	14 真幸	0996-22-8281
7 湯田	0996-22-8245	15 上真幸	0996-22-8286
8 鈴之瀬	0996-22-8259	16 飯野	0996-22-8291

パソコン向け: <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html>

携帯向け: <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/keitai/index.html>